

世田谷区立駒繫小 第3回家庭教育学級

「こどもの目線にたってみよう!」

～知っておきたい子ども達の性の現実～

平成29年12月4日
公益社団法人 東京都助産師会
助産師 岩佐寛子

思春期の生命教育(性教育)の現状

内容が分割されている(理科、保健体育、特別授業など)

教師の知識・意識の差

家庭教育の差

学校と家庭の意識の差

子供たちの置かれている環境で、正しい知識の学習にバラつきがある



知識のバラつきがある中で大人になっていく

子どもたちの性の現状

- ①初経・精通の性的成熟は早まっている?
- ②性行動の実態はどのように変化している?
- ③10代の人工妊娠中絶は増えているの?
- ④若者の性感染症は増えているの?
- ⑤性情報の入手はどこから?
- ⑥性被害の現状は?

3

子どもたちの心の現状

「孤独を感じる」子 (15才を対象)

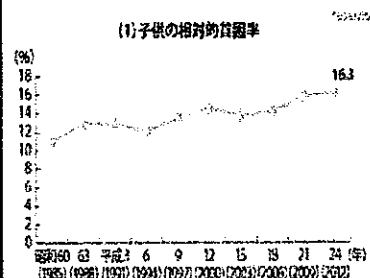
…日本では29.8%

<先進国27カ国で第 位(平均は7.4%)>

～ユニセフの「裕福諸国における子どもたちの幸福度調査より～

2013年12月

子どもの貧困状態



内閣府の調査「子ども・若者白書」より

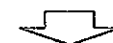
OECD加盟国の平均を大きく上回っている
→子ども6人に1人

ひとり親世帯では子どもの相対的貧困率は54.6%
→子ども2人に1人

性をどのように伝えていきますか？

《性的成長の段階》

- 5歳 80%の子が「赤ちゃんはどこから？」
- 9歳 性腺刺激ホルモンの分泌開始
- 12歳 月経や精通の開始(もっと早い子も...)
- 中学生:子どもから大人へ移行するための心身の変化が最も急激に表れる時期。生理的には激変期、心理的には動揺期。



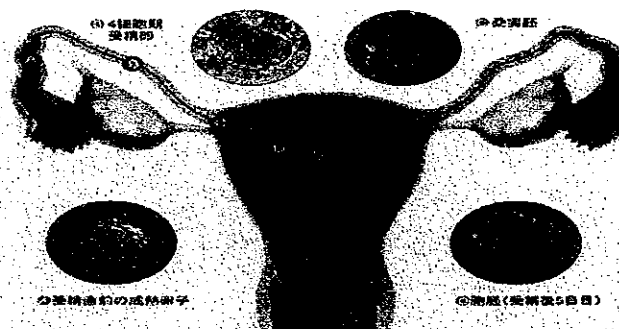
最初に触れる性の情報によって受け止め方が変わる。誕生の仕組み及び、いのちを生み出す準備を備えた身体に少しずつ成長していくことを伝えていく。⁶

あなたの誕生日は、いつですか？

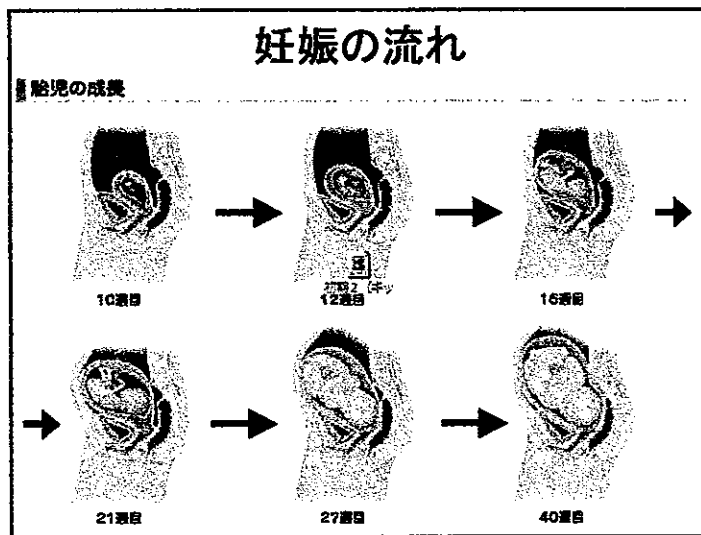


だれもが
はじめは赤ちゃんだった

妊娠の成立



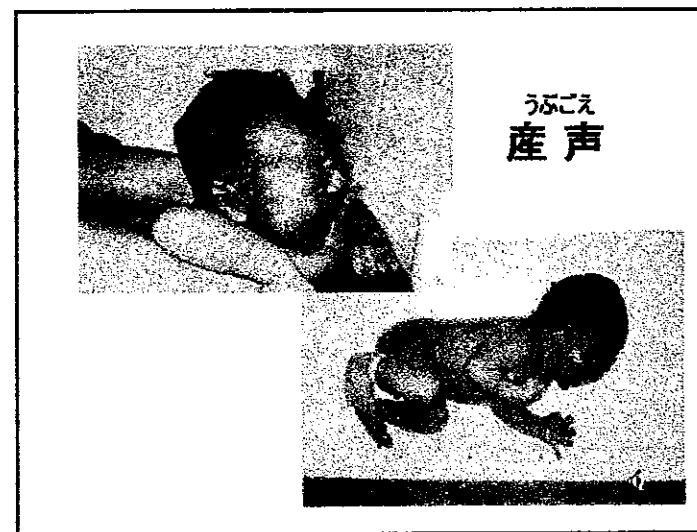
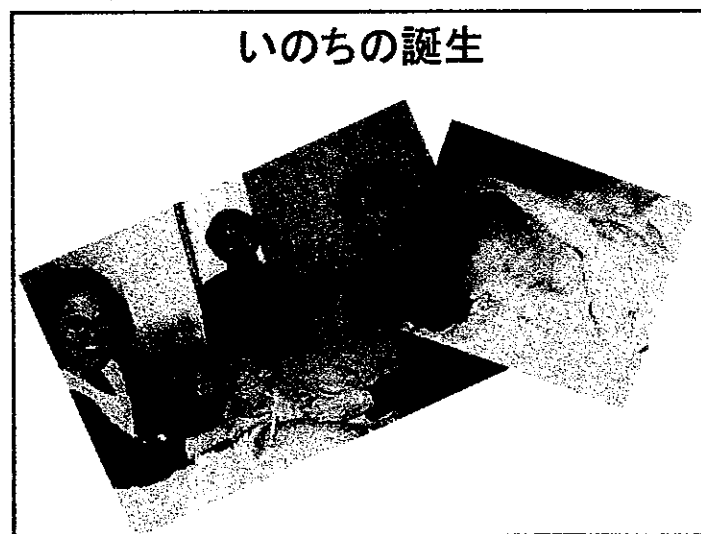
卵管膨大部で受精した受精卵は3日間卵管の中で分裂分化し4日目には子宮に入り、7日目に着床していく。



「生まれるよ」のサイン

自分で決めて
自分でかくごして
生きるために
生まれてくる

10

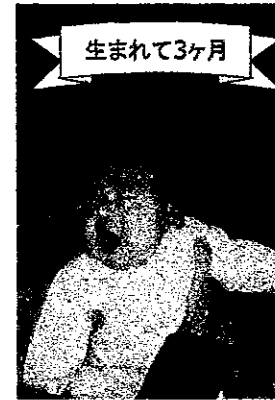


お父さんお母さんからのメッセージ (帝王切開後3日目)

【父】〇〇が生まれてきた時、本当に光に包まれて見えたよ。その瞬間、お父さんとお母さんは世界で1番幸せだったと思うよ。

【母】〇〇がお腹から出てきた瞬間、「生まれてきてくれてありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいになりました。帝王切開だったので、しばらくママの身体が思うように動かなくて、おっぱいや抱っこが自力でできず申し訳なく切なくなりましたが、その分これからたくさんおっぱいも抱っこもさせてね。本当に生まれてきてくれてありがとう。

成長には個人差があって良い



新しい命を生み出す準備が 整ってきている心と身体

二次性徴

- カラダ……月経・射精 など

“すてきな大人”になっていく

- ココロ……人を好きになる など
- 社会性……ガマンできる、
人の話を聞くことができる、
自分の考えが伝えることができる など

素敵な人生を送るためには

- 自分を大切にする(自分を知る)
- 相手のことも思いやる
相手の立場になって考えることができる

お互いを思いやり、いたわり合える
そんな関係を築いていきましょう

今、自分にできること
健康な体と健康な心を
維持すること

- ・睡眠
- ・バランスのとれた食事
- ・適度な運動
- ・勉強 など

感想 (小学4年生)



- 命は1つだから大切にしていきたい
- 色々な工夫をして生まれてくる赤ちゃんって賢いし、自分も同じように生まれてきてすごいと思いました。
- 最初は小さな点くらいなのに10カ月で大きくなるのがわかった。生まれてから今までの間に、身体だけでなく心も成長していることが分かった。
- 自分の命だけでなく人の命も大切にしたい。
- 私も赤ちゃんを生むのが楽しみになった。

18

感想 (保護者より)

- 「いのちの授業」や「男女の発達の違い」について学び、家族でもざっくばらんに色々と話ができて良かったです。
- 「いのちの授業」とても良かったです。子どもたちも真剣に聞いていて反応も良かったですね。私も出産の時を思い出し感動しました。改めて「生まれてきてくれてありがとう」と伝えたいと思います。
- 我が子との奇跡的な出会いを改めて実感し、感動しました。



19

私達の話の後に……
～つながる命の話～

☆各クラスで、感想文を書く時間を設けたり、学級通信の中で感想文を紹介したり、子どもたちからの質問を受け付けて下さったり…
色々な工夫をして下さっている担任の先生方

☆ご家庭でも…つなげていこう
「いのちの話」



家庭でできる命の話

子どもときちんと向き合おう

- ・ 子どもの質問は突然やってくる。
- ・ 出産の時の話や子育てエピソードを温かい口調で語ろう。
- ・ 「あなたに会えて嬉しかった」メッセージを発信しよう。
- ・ 性への関心を持ち始めた頃に『命をつなげていく大切な行為』であることを伝えていこう。



21

子どもたちの性的自立を 支援するためには 子どもときちんと向き合おう



- ・ 家庭で話し合う男女の姿を見せていますか？
- ・ 親自身が日ごろから、性についての考えを子どもに伝えられていますか？
- ・ 親自身が豊かなセクシュアリティを持った生き方ができていますか？
- ・ 家族で話す場が持っていますか？

22

子育て中のお母さんからのメッセージ

子育て中に何度も母親失格と思う時があります。

でも、そのたびに妊娠中やお産の時に頑張ったことを思い出します。

陣痛よく頑張ったな...

生まれた時嬉しかったなあ...と。

何度となく思い出します。

誰かに見守られ、大切にされた思い出です。



ご静聴
ありがとうございました



文化委員会主催 第3回家庭教育学級のご報告

子どもの目線に立ってみよう！

～知っておきたいこどもたちの性の現実～《12月4日(月) 視聴覚室にて》

本年度文化委員最後の企画として、12月4日(月)に第3回家庭教育学級を実施しました。第1回の「食」、第2回の「遊び」に続き、今回は「性」に焦点が向けられました。

月曜午前という時間帯にも関わらず、50名程のご参加をいただき、盛況な企画となりました。出席者は低学年から高学年まで偏りなく、幅広く関心の高いテーマであることを伺い知ることができました。講師の岩佐寛子先生は、東京助産師会いのちの教育委員として性教育を広める活動をしておられ、今回の講座は貧困から援助交際に行った子どもが立ち直る話や性病への無防備さなど、少々厳しい現実感のあるデータ説明とエピソードから始まりました。

先生のお話の本筋は、幼いうちに『科学的』な言い方で「命が生まれるまでの過程、命を育む準備としての自分の身体の変化」などを説明する、子ども達に「命の大切さ」を理解してもらうことで自分の身体を大切にする気持ちが生まれるという、非常に説得力のあるものでした。家庭で親が取るべき行動については、「妊娠から出産のエピソードを交え、慈しみを持って、我が子に生まれたことへの喜びや大事な存在であることを話す」「子どもからの突然の質問にも動揺せず性教育の話をする良い機会だと捉え、まず何故、性の話に関心を持ったのかを聞くことから始める」、「男の子はやはり父親からの会話が有効」、「夫婦がスキンシップや話し合う姿など仲良いところを子供に見せる」、「性的な問題についても、親が子どもの相談相手になれる存在であることを伝えておくことで、子どもが問題を一人で抱え込まない」など、具体的に示唆に富むお話を多くいただきました。

参加された方々のアンケートでは、ほぼ全員の方がとても有意義であったと回答頂き、今後の定例開催や生徒向け講演開催を望む声も多くありました。なお、講師の岩佐先生は、毎年駒留中学校で講義を実施しておられるとのことでした。

科学的に性の話をするための手がかりとして以下の紹介がありました。

<岩佐先生お勧め本>

- ・「きみのいたばしよ」写真:スタジオ ネーブル 文:池田伸 絵:コヨセ・ジュンジ
- ・「赤ちゃんの誕生」文:ニコル・テイラー/写真:レオルト・ニルソンほか/訳:上野和子
- ・「うちにあかちゃんがうまれるの」いとうえみこ・文 伊藤泰寛・写真
- ・いのちの大切さを伝える絵本「生まれてきてくれてありがとう」作:鈴木せい子 絵:立花千栄子 ぱすてる書房
- ・「ティーンズ・ボディーブック」(新装改訂版)北村邦夫 伊藤理佐・イラスト 中央公論新社
- ・「あかちゃんはどうしてできる」えとぶん:P.H.クヌートセン やく:きたざわきょうこ アーニ・しゅつぱん

